

# 用語解説

- ◆ **グローバル化** <第Ⅰ部：P1, 4, 9, 13, 24, 25, 26、第Ⅱ部：P1, 4, 20>  
経済活動や社会活動などが地球規模でつながり、広がっていくこと。
- ◆ **投資余力** <第Ⅰ部：P1, 26>  
歳出総額から、行政を運営する際に固定的に支出される人件費、扶助費、公債費、物件費などを差し引いた部分。投資余力が大きいほど、住民ニーズなどに応じた独自のサービスが提供できることになる。
- ◆ **環境負荷** <第Ⅰ部：P1, 5, 11, 17, 20, 23, 25, 26, 41, 42、第Ⅱ部：P14, 20, 21>  
人が環境に与える負担のこと。環境基本法では、「環境への負荷」を「人の活動により、環境に加えられる影響であって、環境の保全上の支障の原因となるおそれのあるもの」と定義している。
- ◆ **高規格幹線道路** <第Ⅰ部：P1, 9, 15, 24, 25, 26, 27, 34, 38、第Ⅱ部：P10, 14, 20>  
「高速自動車国道」および「一般国道の自動車専用道路」のこと。一般的に、自動車が高速で走れる構造で造られた自動車専用道路のことを指す。  
(本道における計画延長 1,825 k m、供用延長 1,014 k m (H25. 3. 31現在))
- ◆ **国際バルク戦略港湾** <第Ⅰ部：P1、第Ⅱ部：P4>  
大型船舶の活用等により、穀物、鉄鉱石、石炭などのばら積み貨物（バルク）を取り扱うアジアの主要港湾と比べて遜色のない物流コスト・サービスを実現し、それにより日本の産業や国民生活に必要な不可欠な資源、エネルギー、食糧等の物資を安定的かつ安価に供給することを目的とする港湾政策で国が選定。本道からは、釧路港（「穀物」）が選定された。
- ◆ **ロシア極東** <第Ⅰ部：P1, 14, 15, 34, 35、第Ⅱ部：P4>  
ロシア連邦の東部に位置する、7つに分けられた連邦管区の一つで、気候風土が類似した1共和国、2地方、4州、1自治州、2自治管区の計10の連邦構成主体から成る。  
ここでは、道との関わりが深い沿海地方、ハバロフスク地方及びサハリン州をいう。
- ◆ **LCC** <第Ⅰ部：P1, 13, 24, 27, 29, 32, 38, 39、第Ⅱ部：P8>  
ロー・コスト・キャリア（Low Cost Carrier）の略称で、効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。
- ◆ **東アジア** <第Ⅰ部：P1, 12, 13, 24, 29, 32, 34、第Ⅱ部：P1, 4>  
このビジョンにおいては、中国、韓国、台湾、東南アジア諸国連合（ASEAN）10カ国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）をさす。
- ◆ **生活交通** <第Ⅰ部：P2, 16, 29, 36, 40、第Ⅱ部：P17>  
通勤・通学や買い物、通院など地域住民の生活にとって必要不可欠な乗合バス等の輸送サービスのこと。
- ◆ **広域分散型（の地域構造、の社会）** <第Ⅰ部：P3, 5, 15, 19、第Ⅱ部：P10, 21>  
北海道は、他の都府県に比べて人口密度が著しく低く、道内各地域の拠点となる都市の人口割合が高いことから、我が国の国土の約2割に相当する広大な地域に、人口、機能等が分散している状況にある。このビジョンでは、このような「地域構造」、また、形成している「社会」を表現している。
- ◆ **ASEAN** <第Ⅰ部：P4>  
Association of Southeast Asian Nations（東南アジア諸国連合）の略。経済・社会・政治・安全保障・文化での地域協力機構。インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオスの10カ国が加盟。

- ◆ **北東アジア** <第Ⅰ部：P9, 14, 15, 27, 34, 35、第Ⅱ部：P4>  
このビジョンにおいては、中国、台湾、朝鮮半島、モンゴル、シベリア、ロシア極東をさす。
- ◆ **社会資本** <第Ⅰ部：P9, 41, 42、第Ⅱ部：P6>  
国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設等をいう。道路・港湾・工業用地などの生産関連と、住宅・公園・下水道などの生活関連に大別される。
- ◆ **(貨物の)ユニット化** <第Ⅰ部：P10、第Ⅱ部：P4, 14>  
貨物輸送の効率化を図るため、雑貨などの物品を一つにまとめること。コンテナやシャーシを用いた貨物輸送がその代表例。
- ◆ **リダンダンシー** <第Ⅰ部：P10、第Ⅱ部：P23>  
redundancy。「冗長性」、「余剰」を意味しており、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。
- ◆ **インフラ** <第Ⅰ部：P10、15>  
社会生活を支えるために整備された公共的な仕組み、基盤をさす。
- ◆ **ICカード** <第Ⅰ部：P10、第Ⅱ部：P17>  
集積回路(Integrated Circuit)を内部に組み込んだカード。磁気カードよりも大容量のデータを記憶でき、かつ、セキュリティの向上を図ることができる。
- ◆ **ユニバーサルデザイン** <第Ⅰ部：P11, 19, 25、第Ⅱ部：P22>  
障がい者、高齢者、健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などを設計すること。
- ◆ **バリアフリー** <第Ⅰ部：P11, 19, 26、第Ⅱ部：P17, 21, 22>  
高齢者、障がい者等が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去(フリー)すること。物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁などすべての障壁を除去するという考え方。
- ◆ **食産業** <第Ⅰ部：P12, 29>  
第一次産業や食品加工など食料品そのものの生産に係る産業に加え、食料関連設備や運輸、飲食店など食料品の生産手段や流通に係る産業の総称。
- ◆ **食クラスター** <第Ⅰ部：P12>  
食の分野において、食に関わる幅広い産業(産)と大学や試験研究機関、金融機関などの関連機関(学官・金融)がオール北海道で、今まで以上に緊密に連携・協働できる体制を構築し、北海道ならではの食の総合産業を構築しようとする取組のこと。
- ◆ **北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区** <第Ⅰ部：P12>  
平成23年12月に総合特別区域法に基づく国際戦略総合特区の指定を受け、食に関する研究開発・製品化の促進や海外への販路拡大などの取組を行い、東アジアにおける食産業の研究開発・輸出拠点化を推進するもの。
- ◆ **クルーズ** <第Ⅰ部：P13、第Ⅱ部：P14>  
航空機や鉄道などの代替の輸送機関としての船旅ではなく、船内でのレジャーや滞在、洋上ライフを楽しむこと等、船に乗ること自体が旅行の主目的の一つである船旅のことであり、原則的に船内での宿泊が伴うものとされている。
- ◆ **二次交通** <第Ⅰ部：P13, 29, 30, 31, 39、第Ⅱ部：P6>  
複数の交通機関等乗り継いで目的地に行く際に、空港や鉄道の駅から最終目的地(観光地など)に移動するための交通手段をいう。

- ◆ **ノンステップバス <第Ⅰ部：P19>**  
床面の地上面からの高さが概ね30cm以下であって、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合するバスをいう。
- ◆ **リフト付きバス <第Ⅰ部：P19>**  
中扉に設けられたリフトを使って、主に車いす使用者の乗降を円滑に行うことができるバスをいう。
- ◆ **福祉タクシー <第Ⅰ部：P19>**  
一般タクシー事業者が福祉自動車を使用して行う運送や、障害者等の運送に業務の範囲を限定した許可を受けたタクシー事業者が行う運送のことをいう。
- ◆ **ハイブリット自動車 <第Ⅰ部：P20>**  
エンジンと電気モーターの二つの動力源を組み合わせ、それぞれの利点を活かして駆動することにより、低燃費と低排出ガスを実現する自動車。
- ◆ **電気自動車 <第Ⅰ部：P20、第Ⅱ部：P21>**  
バッテリー（蓄電池）に蓄えた電気でモーターを回転させて走る自動車。
- ◆ **一次エネルギー <第Ⅰ部：P20>**  
石炭、石油、天然ガス、水力、原子力、風力、地熱など他のエネルギーに変換、加工される前の形態でのエネルギーの総称。これに対し、一次エネルギーを加工することで得られる電力や灯油、ガソリンなどは二次エネルギー。
- ◆ **新エネルギー <第Ⅰ部：P20>**  
技術的に実用段階に達しつつあるが、経済性から普及が十分ではないエネルギー。太陽光、風力、バイオマスを利用して得られるエネルギーなど。
- ◆ **モーダルシフト <第Ⅰ部：P20、第Ⅱ部：P21>**  
環境負荷の小さい鉄道・海運利用へと貨物輸送を転換すること。
- ◆ **燃料サーチャージ <第Ⅰ部：P21>**  
燃料価格の上昇・下落によるコストの増減分を別建ての運賃として設定する制度。
- ◆ **モータリゼーション <第Ⅰ部：P24, 36、第Ⅱ部：P17>**  
自動車が単に輸送機関としてだけでなく、市民生活の中に入り込んできている文化的・社会的状態。
- ◆ **交通モード <第Ⅰ部：P25, 26, 28、第Ⅱ部：P12, 20>**  
鉄道、バス、マイカー、タクシーなどの交通手段のこと。
- ◆ **NPO (Non-Profit Organization) <第Ⅰ部：P28, 40, 41>**  
非営利組織。政府・自治体や企業とは別に社会的、公益的な活動を行う非営利の組織（団体）。
- ◆ **CIQ体制 <第Ⅰ部：P32、第Ⅱ部：第Ⅱ部：P1, 2>**  
国境を越える際の交通・物流において必要な手続で、税関（Customs）、出入国管理（Immigration）、検疫（Quarantine）を包括した略称。あるいはそれらを実施する機関又は施設。
- ◆ **ILS <第Ⅰ部：P32、第Ⅱ部：P1, 22>**  
Instrument Landing Systemの略。悪天候時においても、誘導電波により機内の計器を見つづ操縦することにより、所定のコースに沿った安全な着陸を可能とする着陸援助施設。道内の空港においては、新千歳空港など9空港に整備されており、霧や雪などによる視界不良時の就航率向上に効果をあげている。

- ◆ **デアイシングエプロン <第Ⅰ部：P32>**  
De-Icing apron。航空機が除氷・防氷処理を受けるための駐機場。
- ◆ **着陸料 <第Ⅰ部：P32>**  
民間航空機が一回の着陸ごとに空港に支払う空港使用料。航空機の重量などを基準に設定。
- ◆ **コミュニティバス <第Ⅰ部：P36, 37、第Ⅱ部：P17>**  
地域住民の多様なニーズにきめ細かに対応する地域密着型バス。
- ◆ **乗合タクシー <第Ⅰ部：P36, 37、第Ⅱ部：P17>**  
乗車定員10人以下の車両（ワゴン車やセダン車）により乗り合いで旅客を運送するタクシーのこと。過疎地など乗合バスでは非効率な地域等において、乗合バスとタクシーの中間的な交通需要を満たす役割を担っている。
- ◆ **デマンドバス <第Ⅰ部：P36、第Ⅱ部：P17>**  
利用者が希望する乗降場所や時刻などの要求（デマンド）に応じて、乗り合い方式で運行するバス。
- ◆ **DMV <第Ⅰ部：P36、第Ⅱ部：P18>**  
デュアル・モード・ビークル（Dual Mode Vehicle）の略称で、J R北海道が開発を進めている線路と道路の両方を走行できる車両。
- ◆ **地域生活交通確保対策協議会 <第Ⅰ部：P36>**  
道内各地域における生活交通の確保を図るために各総合振興局・振興局ごとに設置されている協議会。総合振興局・振興局、運輸支局、市町村、バス事業者などで構成されている。
- ◆ **デマンド交通 <第Ⅰ部：P36>**  
電話予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。
- ◆ **特定免税店制度 <第Ⅱ部：P1>**  
2002年の沖縄振興特別措置法の改正によって創設された沖縄県限定の免税店制度。沖縄から沖縄以外の本邦の地域へ出域する旅客を対象に、空港内の旅客ターミナル施設等において関税を免除した価格で輸入品が購入できる。
- ◆ **乗り入れ制限 <第Ⅱ部：P1>**  
新千歳空港は航空自衛隊千歳基地と隣接していることから、防衛上の理由により一部外国航空会社の乗り入れに関して、曜日及び時間帯に一定の制限がある。
- ◆ **需給調整規制 <第Ⅱ部：P8>**  
市場における需要と供給のバランスを適切に保つため、新規参入について一定の規制を設けるもの。
- ◆ **重大インシデント <第Ⅱ部：P8>**  
事故が発生するおそれがあると認められる事態。
- ◆ **国際標準コンテナ車 <第Ⅱ部：P10>**  
海上コンテナのISO規格である40 f t 背高コンテナを積載できる規格。フル積載時の重さは44 t、高さは4.1m。
- ◆ **RORO船 <第Ⅱ部：P14>**  
ロールオン・ロールオフ船の略。船のランプウェイ（傾斜路）を利用して、トラックやトレーラー、フォークリフトなどの車両が直接貨物を積み下ろしする方式の貨物船。

- ◆ **複合一貫輸送 <第Ⅱ部：P14>**  
船舶、鉄道、自動車、航空機など種類の異なる2つ以上の輸送を用い、貨物の引き受けから引き渡しまでを同一の運送人の一元的責任において、一貫して輸送を行うこと。
- ◆ **国際拠点港湾 <第Ⅱ部：P15>**  
国際戦略港湾（政令により指定されている東京、横浜、川崎、大阪、神戸の各港）以外の港湾であって、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾。道内には2港（室蘭港および苫小牧港）。
- ◆ **重要港湾 <第Ⅱ部：P15>**  
国際戦略港湾及び国際拠点港湾以外の港湾であって、海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾。道内には10港。
- ◆ **地方港湾 <第Ⅱ部：P15>**  
国際戦略港湾、国際拠点港湾及び重要港湾以外の港湾。道内には23港。
- ◆ **マイレール意識 <第Ⅱ部：P18>**  
鉄道の必要性や重要性などを認識し、自ら地域の鉄道を守り育てていく意識。
- ◆ **パークアンドライド <第Ⅱ部：P20>**  
交通混雑緩和のため、自動車を都市郊外の駐車場に駐車し、鉄道、バス等の公共交通機関に乗り換え、目的地に入ること。
- ◆ **サイクルアンドライド <第Ⅱ部：P20>**  
出発地からは自転車を利用し、途中で鉄道、バス等の公共交通機関に乗り換えて目的地まで移動すること。
- ◆ **カーシェアリング <第Ⅱ部：P21>**  
自動車を個人ではなく、複数の会員で共同利用する仕組み。自動車を利用した走行距離が減少し、利用者1人あたりの二酸化炭素の排出量が削減されるなどの利点がある。
- ◆ **エコドライブ <第Ⅱ部：P21>**  
やさしい発進を心がけたり、無用なアイドリングを止めるなどして燃料の節約に努め、二酸化炭素の排出量を減らす、環境に配慮した自動車の使用をさす。
- ◆ **天然ガス車 <第Ⅱ部：P21>**  
家庭に供給されている都市ガスの原料でもある天然ガスを燃料として走る自動車。
- ◆ **クリーンディーゼル車 <第Ⅱ部：P21>**  
ポスト新長期規制（平成22年排出ガス規制）に適應する、PM（粒子状物質）やNO<sub>x</sub>（窒素酸化物）の排出量が少ないディーゼルエンジン自動車。
- ◆ **燃料電池自動車 <第Ⅱ部：P21>**  
車載の水素と空気中の酸素を反応させて、燃料電池で発電し、その電気でモーターを回転させて走る自動車。
- ◆ **エコ燃料 <第Ⅱ部：P21>**  
バイオエタノールなど、生物資源であるバイオマスを加工処理して得られる再生可能燃料。
- ◆ **サプライチェーン <第Ⅱ部：P23>**  
商品の供給の流れ。製品やサービスが原料の段階から消費者に届くまでの全プロセス。